平成 20 年 1 月 1 日
第 8 号

やかたばら環境通信

◇◇ 発行 ◇◇
八方原の環境を守る会
代表 原田憲一郎
電話 972・7602

飛躍の「つちのえね」年に



新年おめでとうございます。

皆様方にはご家族共々輝かしい良いお年をお迎えのことと存じます。

「八方原の環境を守る会」は昨年5月に期待と不安の中で産声を上げましたが、ここまでほぼ、予定通りの活動ができましたことは会員各位の絶大なご協力の賜と厚く御礼申し上げます。

申すまでもなく、この活動の特徴は、農地を中心とした地域環境を守る役目を農地所有者、耕作者だけでなく地域住民全体が支えあうことにあります。自分の農地・農業の後継者難に不安を抱える農家にとって、一途の光明を見いだしたい活動と言っても過言ではないと思います。

今年は戊子（つちのえね）の年、周囲に人を集める「戊（つちのえ）」と十二支で一番目に当たる「子（ね）」が結びついた、とても活気のある「運気」のある年と言われています。

このような「運気」を味方にして積極的な活動はもちろんのこと、まだ会の活動へご理解をいただいていない方々への、働きかけにも意を注いでまいりたいと思います。

また、この小紙「やかたばら環境通信」は今後ともこの会の活動、地区の行事、出来事、人の動静などを追って皆様にお伝えする予定ですので、会員、関係者各位の一層のご協力、ご鞭撻をお願い申し上げます。

終わりに、本会の活動を通じて会員各位の益々のご発展とご多幸のお手伝いができることを祈念して新年のご挨拶といたします。

「八方原の環境を守る会」
代表 原田憲一郎



穏やかな陽ざしに包まれた冬の午後（19 年度中撮影）

活動予定のお知らせ

平成19年度事業は残すところ3カ月となりました。予定では用水路にかかる木製の仮橋の架け替えを順次行います。緊急度の高いものから予算の許す範囲で実施してまいります。

また昨年11月には山口県農地・水・環境保全向上対策協議会山口支部主催の「水路目地補修講習会」に参加しましたことで、地区内の水路補修に取りかかります。既に長年にわたって風雨にさらされ傷みも少なくありません。根本的な工事が必要な箇所もありますができるところから行います。

また、環境向上対策として取り組んでいる花壇の維持管理も引き続き行います。

※ 本年より発行日を月末から月初に改めました。前号の日付等が誤っておりましたことをお詫びいたします。

防災の備え怠りなく

地区に取って平成19年は自然災害の少ない年でした。しかし、災害はいつ起こるか分からないので、八方原消防組は日頃からの器具の点検などを怠りません。12月2日には今年最後の点検と訓練を行いました。



全ての消火栓を点検しました（岡田地区）

点検では、地区内の消火栓、器具庫を点検します。日頃使っていなくても組員が確認して歩くことが重要です。中には破損しているものもありました。

訓練では今年新たに加わった原田健君と原田重隆君がポンプ操作を学びました。何でもない操作でも、実際に経験していないことは、いざという時にうまくできない可能性が高いのです。

幸いなことに、地区内では家屋火災などもここ数年ありません。しかし、地震や台風などどのような災害が来るか分かりませんので、常に備える体制が必要です。むしろ、消防組というより自主防災組織というべきかもしれません。自分の地区は自分たちが守る、その強い意識こそ一番求められます。

元にもどった「ふどうさま」



背中に火炎を背負う不動明王

「ふどうさま」として長く親しまれきた不動明王像。十数年前の台風で台座から落ちたままになっていました。

この度、株式会社亀井組さんの協力で石像を元に戻すことができました。元に戻った「ふどうさま」に再び働きをいただくように佐賀県の瀧光徳寺住職を招き祭礼が行われました。

不動明王は悪魔を降伏させるために恐ろしい顔をしていると言われています。また、仏道に従わないものを、ねじ伏せ救済する力を持つとされます。



頭部に馬頭をいただくことから馬頭観音と呼ばれます

その下に位置する馬頭観音は馬の守り神でもありますが、怒った表情は人を救うためのものだそうです。



苔むした十一面観音

一番下にあるのが十一面観音です。頭上には十一面の様々な表情を持ちますが、深い慈悲で人々の苦しみを救うとされ、穏やかな表情と端正な容姿をしています。

高山造庭園の作業場の中央の道を進み、森の中に降りる道を行くと「ふどうさま」に出会うことができます。

里山のあばれもの

俺はこの山で生まれたイノシシだぜ。最近は山も飽きてしまって、里に下りることが多くなった。山にはないものがいっぱいあってなかなか面白い。それに大好物のミミズもたくさんいるし、土も柔らかい。楽勝だぜ。人間はいるけれどへのカッパさ。

ありゃ、何だこの鳴き声は犬か？犬は嫌いなんだよね。とりあえず、ちょっと逃げるか。ちきしょう、後を追ってきやがった。仕方ない、勝負だ。

この犬ただの犬じゃないな。あっ、人間もやってきた。こりゃまずい。わ、足を持ち上げられた。やられた！

12月3日の午後、八方原の朝市会場付近で畑を荒らしていた、体重約30kgのイノシシが猟師さんの手にかかって仕留められました。

山の生き物がいろいろな影響で里に下りてくるようになってしまい、人とのトラブルが絶えなくなりました。



民家の周りを走り回ったイノシシを捕獲

この後にも地元で、もう一頭のイノシシが捕獲されています。

くれぐれも、ご注意下さい。